



様式第9(第5条関係)
(その1)

令和 6年 4月 16日

新城市議会議長

長 田 共 永 様

氏名 中 西 宏 彰

令和5年度政務活動費収支報告について

新城市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり
令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

(その2)

令和5年度政務活動費収支報告書

氏 名 中西宏彰

(会派にあっては、名称及び代表者氏名)

1 収 入

政務活動費 150,000 円

2 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	134,135	第85回全国都市問題会議 第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	8,948	共同使用コピー機リース料コピー使用料8,948円
資 料 購 入 費	0	
合 計	143,083	

3 残 額

6,917 円

(注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

2 領収書又はこれに準ずる書類を添付する。

研修名	第85回全国都市問題会議
研修日	令和5年10月12日～13日
研修場所	八戸市公会堂・公会堂文化ホール

費用	金額	
交通費	43,620	円
宿泊費	26,000	円
研修参加費	10,000	円
その他（振込手数料）	0	円
合計	79,620	円

政務活動費に充てる金額	79,620	円
-------------	--------	---

会議参加費 領収書

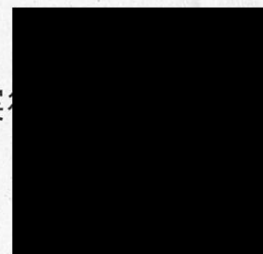
中西宏彰 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 10 月 12 日

第85回全国都市問題会議実行委員会
会 長 熊 谷 雄



研 修 報 告 書

令和 6年 3月29日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 中西 宏彰

研修について下記の通り報告いたします。

記

研修日 令和5年10月12日(木)～13日(金)

研修目的 第85回 全国都市問題会議

研修先 青森県八戸市公会堂・公会堂文化ホール

研修内容等

10月12日

9:30 開会式

9:50 基調講演 アートの役割って何だろう？

東京藝術大学長 アーティスト

日比野 克彦

11:00 主報告 八戸市の文化・スポーツによるまちづくり

12:00 青森県八戸市長

熊谷 雄一

13:10 一般報告 まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる

14:10 文化事業ディレクター、演出家

吉川 由美

14:30 一般報告 標高差1,500mの地勢を活かしたスポーツ・

ツーリズムの創出

長野県東御市長

花岡 利夫

15:30 一般報告 まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用

(株)鹿島アントラーズFC取締役副社長

鈴木 秀樹

16:30

10月13日

9:30

パネルディスカッション

【テーマ】文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展

【コーディネーター】東京大学大学院人文社会系研究科教授

小林 真理

【パネリスト】 合同会社 imajimu 代表取締役

今川 和佳子

拓殖大学商学部教授

松橋 崇史

静岡県沼津市長

頼重 秀一

京都府綾部市長

山崎 善也

11:50 閉会式 次期開催市市長挨拶

所感

今回の全国都市問題会議での議題として「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」 基調講演は日比野克彦氏から「アートの役割って何だろう？」のテーマはまちづくりにおいて市民とのつながりに反映できればと思いました。

主報告は、開催市の八戸市長熊谷氏から「八戸市の文化・スポーツによるまちづくり」について。吉川氏から「まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる」 長野県東御市長花岡氏から「標高差 1500m の地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出」 ㈱鹿島アントラーズ FC 取締役副社長鈴木氏から「まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用」についてそれぞれ活動報告をして頂きました。

パネルディスカッションでは「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」のテーマで・コーディネーターの東京大学大学院教授小林氏から、「一巡した文化芸術を活用したまちづくり～自治体文化行政から魅力的なまちへ」 パネリストの拓殖大学教授松橋氏から「地域活性化におけるスポーツの役割とその変化」 静岡県沼津市長頼重氏から「スポーツとアニメを活用したにぎわいの創出～誇り高い沼津を目指して～」 京都府綾部市長山崎氏から「文化芸術・スポーツで紡ぐまち綾部 市民一人 1 文化・1 スポーツの推進」等の事例報告とそれについての議論が行われました。多くの自治体の中から、市長さん方が先進事例として我がまちを誇りとプライドを持って熱心に PR して頂き熱い思いが伝わりました。議題となっている、「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」は、多くの自治体にとってまちづくりを進めることに密接に関係していると思います。

本市をはじめ各自治体に求められる視点は、まず (1)【理念ビジョンの確立】その目的と目標を明確に定義する。(2)【粘り強い継続的な取り組み】中長期的には文化・芸術・スポーツ資源の「活用」と「保護・育成」を両輪として一体的に展開していく中で、それをいかにして「地域の文化」として広く浸透させ内外から認知されるようになるためには、行政をはじめ関係者の地道かつ息の長い努力が必要である。(3)【市民の主体性の発揮】文化・芸術・スポーツを通じたまちづくりの主役は市民である。市民一人一人がなにが「わがまち」の文化としてふさわしいものか、それをどう継承し活用するか、市民の主体性の発揮のためには行政の文化・芸術・スポーツ政策の形成プロセスの中に多様な市民を取り込んでいくことや、市民が「まちの将来像」について議論しアイデアを生み出しやすい環境育成も自治体の大切な役割である。今回の全国都市問題会議では、多くの自治体が文化・芸術・スポーツ・観光等を、魅力あるまちにするために行政も積極的に取り組んでいる事に対し、より理解を深めました。

本市も、歴史・文化のまちと言われると共により認知して頂けるように努めなければなりません。また、スポーツ・観光も含めた魅力と活力あるまちづくりの実現に向けて早急に行政・議会・議員も市民の皆様の理解と共感を伴う取り組みを積極的に行う必要があると考えます。

第 85 回全国都市問題会議日程

第 1 日 令和 5 年 10 月 12 日(木)

9:30 開会式

- | | | | |
|------------|---------|---------|---------|
| 1. 開会挨拶 | 全国市長会会長 | 福島県相馬市長 | 立 谷 秀 清 |
| 2. 開会市市長挨拶 | | 青森県八戸市長 | 熊 谷 雄 一 |
| 3. 来賓祝辞 | | 青森県知事 | 宮 下 宗一郎 |

9:50 基調講演

東京藝術大学長、アーティスト 日比野 克 彦

11:00 主報告

青森県八戸市長 熊 谷 雄 一

12:00 (昼 食)

13:10 一般報告

文化事業ディレクター、演出家 吉 川 由 美

14:10 (休 憩)

14:30 一般報告

長野県東御市長 花 岡 利 夫

15:30 一般報告

(株) 鹿島アントラーズ FC 取締役副社長 鈴 木 秀 樹

16:30 (終 了)

第 2 日 令和 5 年 10 月 13 日(金)

9:30 パネルディスカッション

[コーディネーター]

東京大学大学院人文社会系研究科教授 小 林 真 理

[パネリスト]

合同会社 imajimu 代表取締役 今 川 和佳子

拓殖大学商学部教授 松 橋 崇 史

静岡県沼津市長 頼 重 秀 一

京都府綾部市長 山 崎 善 也

11:50 閉会式

1. 次期開催市市長挨拶 兵庫県姫路市長 清 元 秀 泰

2. 閉会挨拶 (公財) 日本都市センター理事 奥 山 恵美子

視 察【事前申込者のみ(有料)】

研修名	第18回 全国市議会議長会研究フォーラム i n 北九州
研修日	令和5年10月25日～26日
研修場所	西日本総合展示場 新館

費用	金額	
交通費	36,740	円
宿泊費	8,500	円
研修参加費	9,000	円
その他（振込手数料）	275	円
合計	54,515	円

政務活動費に充てる金額 54,515 円

※ 視察は当日にキャンセルしたため、計上していない。

新城市議会 中西 宏彰 様

請求書番号 35393552-2-483
発行日 2023/10/04
取引年月日 2023年10月24日～27日

請求書

第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州

株式会社JTB
北九州支店
〒802-0005
福岡県北九州市
JTB小倉ビル
支店長 加倉

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。
10月23日(月) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。
なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご 請 求 内 訳	人 数	金 額(税込)	税率・税額
視察代金		¥11,000	10%
宿泊代金		¥8,500	10%
合 計(うち消費税)		¥19,500	¥1,773
10%対象小計		¥19,500	¥1,773
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外			
内 入 金 額			

ご請求額

¥19,500

* 振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】
【預金種別】
【口座名義】 株式会社JTB

【支店名】
【口座番号】
【お客様番号】 483

* お名前の前にお客様番号をご入力ください。

新城市議会 中西 宏彰 様

請求書番号 35393552-1-483

発行日 2023/10/04

取引年月日 2023年10月25日・26日

請求書

第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州

株式会社JTB

北九州支店

〒802-0005

福岡県北九州小倉区堺町1-1-1

JTB小倉ビル

支店長 加倉

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

10月23日(月) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご 請 求 内 訳	人 数	金 額(税込)	税率・税額
フォーラム参加費(不課税)		¥9,000	消費税対象外
合 計(うち消費税)		¥9,000	
10%対象小計			
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外		¥9,000	
内 入 金 額			

ご請求額

¥9,000

* 振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】

【預金種別】

【口座名義】 株式会社JTB

【支店名】

【口座番号】

【お客様番号】 483

* お名前の前にお客様番号をご入力ください。

研修 費

お振込日
(和暦) 05年10月17日

☒ 振込金受取書(兼手数料受取書)*
☒ 預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

お振込先		銀行		銀行以外の場合は ☒ 信金 信組 農協 その他		支店 出張所	
お受取人		預金 科目		口座 番号		お振込 金額	
お名前(カタカナ) 濁点・半濁点も1文字、文字数が多い場合はマスを無視して枠内にご記入ください。		1.普通 9.その他 2.当座 4.貯蓄		お振込金額をご記入のうえ、先頭に¥マークをお書きください。		円	
カ) J T B				28500		円	
ご依頼人		お名前(カタカナ) 濁点・半濁点も1文字、文字数が多い場合はマスを無視して枠内にご記入ください。		振替		現金	
35393552		ナカニツ ヒロアキ		振替(当座・普通・貯蓄)		現金	
依頼人 漢字		ナカニツ ヒロアキ		振込手数料 (消費税込)		当行宛(円) 他行宛(円)	
電話番号 () - ()		(日中に連絡が可能な お電話番号をご記入ください)		880		990	
				消費税率10%		275	

6.4.-9

再発行

ATM 振込

株式会社 三菱UFJ銀行 新城支店

《払戻請求書・口座振替》
非課税

33261 3/3 A5 23.10 696 23.11

(注) 領収書又はこれに準ずる書類を重ねないように貼付する

研 修 報 告 書

令和 6 年 3 月 2 9 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 中西 宏彰

研修について下記の通り報告いたします。

記

研修日 令和 5 年 1 0 月 2 5 日(水) ～ 2 6 日(木)

研修目的 第 18 回 全国市議会議長会研究フォーラム

研修先 福岡県北九州市 西日本総合展示場 新館

研修内容等

1 0 月 2 5 日

13 : 00 開会式

13 : 20 基調講演 「躍動的でワクワクする市議会に」

14 : 20 大正大学教授兼地域構想研究所長

片 山 善 博

14 : 40 パネルディスカッション

「統一地方選挙の検証と地方会議の課題」

コーディネーター 日本経済新聞編集委員

谷 隆 徳

パネリスト 西南学院大学法学部教授

勢 一 智 子

近畿大学法学部教授

辻 陽

Stand by Women 代表

濱 田 真 理

北九州市議会議長

鷹 木 研一郎

16 : 40 次期開催地挨拶

1 0 月 2 6 日

9 : 00 課題討議 「議員のなり手不足問題への取り組み報告」

コーディネーター

大正大学社会共生学部公共政策学科教授

江 藤 俊 昭

事例報告者 登別市議会議長

辻 弘 之

目黒区議会議員

たぞえ 麻 友

枕崎市議会議長

永 野 慶一郎

11 : 00 閉会式

所感

今回の全国市議会議長会研究フォーラムでの基調講演は、片山善博氏から「躍動的でワクワクする市議会に」のテーマで

- * 地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会を検証する。
- * 日本の地方議会に欠けていることは何か。
- * 現行の議会の権限を活用してもっと積極的に取り組むべきこと。
- * 議会の常識と市民の常識をすり合わせる一市民が首を傾けることとは。
- * 今ふり返って議会に感謝していること。 の内容でした。

片山氏は自治省に入省され、その後、鳥取県知事、総務大臣等の役職を歴任され多くの経験を元に講演して頂きました。まず私自身が躍動的でワクワクする議会・議員活動を行っているかと自問自答し、まだまだ不勉強で反省することも多くあり、もっと積極的に市民の声・意見を大切にして頑張らなくてはといけなと強く思いました。また、議会の常識と市民の常識をすり合わせるについては、私も議会の常識は市民にとっては非常識と市民の方から言われたこともあります。もっと市民に寄り添った活動をしなさいとエールを送って頂いた基調講演であったと理解しました。

パネルディスカッションでは「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」をテーマに統一地方選挙を振り返り地方議会の課題について多くの意見とそれについての議論行われました。主な内容は人口減少・投票率の推移・無投票当選者数の推移、地方議会議員の概況・人口減少社会における地方議会の役割・多様な人材の議会への参画・多様な地方議会・議員のなり手不足問題・ハラスメント等がありました。

課題討議では「議員のなり手不足問題への取組報告」をテーマにコーディネーターの江藤氏から統一地方選挙からみる地方政治の現状、議員のなり手不足は住民自治の劣化を招く・なり手不足の問題を再確認する等の説明に続いて各報告者からそれぞれの意見報告が出されそれについて議論が行われました。

多様性を求められている今の時代は行政・議会・議員もしっかり対応をしていく必要があります。

少子化・高齢化・人口減少・過疎化が進んでいる本市にとって、今回の研究フォーラムの講演や意見・議論は身近な内容が多くあり、特に少子高齢化・過疎化はさけて通れない喫緊の課題であり行政・議会・議員も早急にまた積極的に取り組まなければならないと改めて強く感じます。

◆ タイムスケジュール



第1日 10月25日（水）〔会場：西日本総合展示場 新館〕

- 11:30 開場・受付
- 13:00 開会式
- 13:20 基調講演
「躍動的でワクワクする市議会に」
片山 善博 大正大学教授兼地域構想研究所長
- 14:20 休憩
- 14:40 パネルディスカッション
「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」
コーディネーター 谷 隆徳 日本経済新聞編集委員
パネリスト 勢一 智子 西南学院大学法学部教授
辻 陽 近畿大学法学部教授
濱田 真里 Stand by Women 代表
女性議員のハラスメント相談センター共同代表
鷹木研一郎 北九州市議会議員
- 16:40 次期開催地挨拶
- 16:50 終了
- 17:15 意見交換会〔リーガロイヤルホテル小倉 4階「ロイヤルホール」〕
- 18:15 意見交換会終了
- 18:30 視察Ⅱ



第2日 10月26日（木）〔会場：西日本総合展示場 新館〕

- 8:15 開場
- 9:00 課題討議
「議員のなり手不足問題への取組報告」
コーディネーター 江藤 俊昭 大正大学社会共生学部公共政策学科教授
事例報告者 辻 弘之 登別市議会議員
たぞえ麻友 一般社団法人 WOMAN SHIFT 理事
目黒区議会議員
永野慶一郎 枕崎市議会議員
- 11:00 閉会式
- 11:30 視察Ⅲ

※登壇者は、変更になる場合もございます